

発行所 愛知県犬山市  
成田山名古屋別院大聖寺  
電話 0568 (61) 2583 (代)  
FAX 0568 (62) 7020  
毎月1回25日発行

犬山成田山 [検索](#)



犬山成田山  
ホームページ  
←



創刊 昭和29年1月25日 (858号) 令和7年11月25日発行

令和八年

新春ご祈祷

前申込受付中

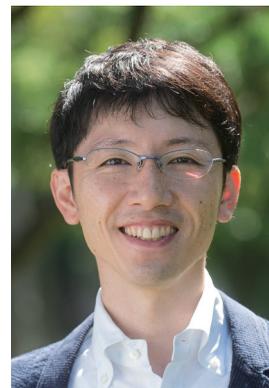
(詳細は六面に掲載)



開創七十二周年記念大法要にて修法される  
岸田照泰貫首 十一月三日、本堂にて

教苑

争族の時代だからこそ、  
家族で語り合う安心の供養



私は「お寺と人のご縁をつなぐ活動」に取り組んでおり、その中で全国のお寺やご家庭から供養に関する相談をいただく機会が多くあります。

近年「相続」が「争族」と呼ばれるほど、財産をめぐる家族が争い、関係が壊れてしまう事例が少なくありません。その影響は供養の場面にも及び、法事を家族が別々に営んだり、お墓の継承権を家族間で押し付け合うなど、悲しい現実も耳にします。

本来、供養とは亡き人のためだけでなく、世代を超えて家族の心をつなぐ大切な営みです。法事やお墓参りは、遺された者が一堂に会し、思いを共有する貴重な時間でもあります。そこで交わされる言葉や沈黙の中に、亡き人の存在が今も私たちを結びつけていることを実感できるのではないのでしょうか。

しかし現代では「墓じまい」や「直葬」等の言葉が、メディアで扇動的に取り上げられ、十分な理解や準備がないまま

その情報に流されてしまう人も多いのが実情です。安易な判断の結果、後になって「やはりお墓を残しておけばよかった」と後悔する声も少なくありません。また、生前の備えをしないまま葬儀を迎え、葬儀社に高額な費用を請求されて戸惑うご遺族もおられます。

だからこそ、生きているうちに「自分や家族にとつてどんな供養が望ましいのか」を率直に家族みんなで語り合っておくことが大切です。葬儀やお墓について家族みんなで話し合えば、それ自体が絆を深め、安心を生みます。さらに、信頼できるお寺に早めに相談しておけば、必要な知恵やサポートを得ることができ、いざという時に慌てずに済み、結果として安心の供養につながります。

供養のかたちは時代とともに変わっても、心をつなぐ思いは変わりません。大切なのは「亡き人を敬い、家族を思いやる心」を次の世代に伝えていくことです。拙著『これからの供養のかたち』（祥伝社新書）にも具体的な事例やノウハウを紹介しましたが、何よりも皆さま一人ひとりが家族と語り合い、安心できる供養を形づくっていただければ幸いです。

一般社団法人お寺の未来

代表理事 井出悦郎

成田山名古屋別院開創七十二周年記念大祭

祭文

伏して惟るに大聖不動明王者、慈悲を内心に秘して忿怒を外相に仮り、奴僕の相を現じては行人の傍を離れず、常に加護を垂れ災障を除き勝計を廻らし利生の益を施す靈尊なり。

是を以て大本山成田山御本尊不動明王は、嵯峨天皇の願により弘法大師一乃三礼敬刻開眼し給える御尊像なり。其れより降て凡そ百三十二年、朱雀天皇の密勅により開山寛朝大僧正大靈験発光以来、茲に一千八十余年、愈々其の光を増し十方有縁の信徒踵を接して群参し、護摩供の香煙絶ゆること無し。

顧みれば夫れ成田山名古屋別院大聖寺は、昭和二十八年、当地篤信各位の熱誠に応え、景勝の地たる犬山白山平を寺域と定め堂宇を建立し成田山御本尊御分靈を勧請して開創せり。爾来、法灯茲に七十二年の星霜を重ね、今や中京鎮護不動尊信仰の一大霊場として確固たる隆盛を見るに至る。

是れ偏に、御本尊明王の靈験加護と謂うと雖も、総代並びに熱誠信徒各位の絶大なる外護信援無くんば、安ぞ能く斯くの如く成らん乎。嗚呼、法幸無量、誠に感謝に堪えざる処なり。

然れば来たる令和十年、名古屋別院開創七十五周年を迎えるに当たり、記念事業として曩に御本尊修補及び本堂耐震補強を始め、信徒会館内エレベータ新設、更には山容整備事業等を以て御本尊が報恩の誠を捧げ謝意を示さんと発願せり。

仍て本日(の)吉辰をとし、謹んで香華を供え潔く齋筵を荘厳し、開創七十二周年記念特別大護摩供を奉修し、以て世界平和、萬民豊樂、信徒安全、交通安全、被災地復旧復興を祈念し、併せて記念事業の円満成就を懇禱す。

仰ぎ冀くは御本尊不動明王、願主が熱禱を哀愍納受し、速やかに明王護念の加被力を廻して加持感応、靈験加護を垂れ給わんことを。

乃至法界 平等利益

維時令和七年十一月三日

大本山成田山新勝寺貫首

大僧正 照泰 敬白

開創七十二周年記念大祭

盛儀に奉修

十一月二日、三日の両日、開創七十二周年記念大祭が奉修されました。二日午前十時より大師堂において、宗祖弘法大師報恩法要が厳修され、また同日午前十一時の大護摩供において、日本生花司松月堂古流尾張支部による献華式が執り行われ、古式に則った作法により、ご本尊宝前に見事な御花を献じられました。【写真下】茶室若水庵では記念茶会が開催されました。

三日九時、十一時、十三時、十五時より記念大護摩供が本堂にて厳修され、特に十一時から記念大法要特別大護摩供では、世界平和、萬民豊樂、信徒安全、交通安全、並びに被災地復旧復興が願意に掲げられ、大本山成田山新勝寺貫首岸田照泰大導師により奉修されました。【写真二面】

本堂は成田山索の会会員、講社議員など大勢の篤信、特縁の方々により埋めつくされ、真言宗智山派別格本山大須観音寶生院貫主岡部快圓大僧正ご名代岡部快雅僧正様、真言宗智山派東海教区教区長佐伯光瑞僧正様、繼鹿尾山寂光院山主松平實胤大僧正様、成田山大阪別院主監金剛照祐僧正様、成田山川越別院主監樋口照喜僧正様、成田山福井別院主監錫田照新僧正様、大本山成田山新勝寺教化部長小川照力僧正様、成田山萬福院住職竹島照般僧正様を始め、

教区内各山諸大徳、大本山成田山新勝寺及び大阪別院、川越別院、福井別院よりご随喜ご助法を賜り、記念大法要が厳修されました。【写真】

記念大法要には来賓として、信徒総代名古屋鉄道株式会社代表取締役会長安藤隆司様、中部電力株式会社相談役水野明久様、ご名代秘書部長前田謙治様、東邦ガス株式会社顧問安井香一様、豊島株式会社代表取締役会長豊島半七様、株式会社名鉄百貨店代表取締役社長石川仁志様、ご名代取締役管理部長加藤真樹様、参議院議員藤川政人様、愛知県議会議員中村貴文様、犬山市市長原欣仲様、扶桑町長鯖瀬武様がご参列されました。

記念大法要後、引き続き記念式典が開催されました。先ず信徒代表総代安藤隆司様が祝辞を述べられ、祝電のご披露の後、小豆畑主監が謝辞を述べました。

自動車交通安全祈禱殿屋上においては、三日九時の大護摩供後、八方宝剑法要が営まれ、宝剑を奉納された名古屋鉄道株式会社の代表者をご参列され、社運隆昌、交通安全が祈願されました。

秋の叙勲・褒章 謹んでお祝い申し上げます

成田山索の会 丹羽支部評議員 元大口町消防団長

瑞宝双光章 酒井 孝様



記念大法要

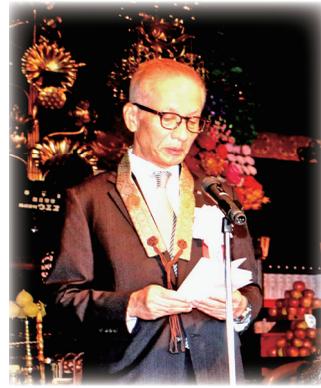


献華式

祝辞

成田山名古屋別院大聖寺信徒代表総代  
成田山索の会会長  
名古屋鉄道株式会社代表取締役会長

安藤隆司



成田山名古屋別院大聖寺開創七十二周年記念大祭にあたり、信徒を代表いたしましたし、一言お祝いの言葉を申し上げます。

爽やかな秋風のもと菊花薫る今日の佳き日、大本山成田山新勝寺第二十二世貫首並びに名古屋別院第五代御住職、岸田照泰大僧正ご親修のもとに、成田山名古屋別院開創七十二周年の記念大祭大法要が厳肅に奉修され、大勢のご来山ご信徒の皆様と共にお祝いできますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、皆様もご承知のように去る昭和二十八年十一月三日ここ犬山の地に、御本尊不動明王を大本山成田山新勝寺よりご勧請ご奉安いたしました成田山名古屋別院が開創されました。以来御本尊不動明王の廣大無辺のご靈験はもとより、さらには、ご信徒皆様のご信援を賜り、成田山別院としての風格を備え、寺院仏閣としての山容相

整いましたことは、ご信徒皆様お一人お一人のご信援ご信助の賜として大慶至極に存じ上げる次第であります。

加えて此まで五年毎の節目には、数々の記念事業が発願され、ご信徒皆様のご理解とご尽力により、これら記念事業が支えられ、達成されてまいりました。

これも御本尊不動明王のご靈徳はもちろんのこと、ご信徒皆様の熱誠と貴名古屋別院詰合員の熱意とが相乗して成し遂げられたところと存じ上げます。心より敬意を表しますと共に、信徒代表総代といたしまして、ご信徒の皆様には衷心より厚く御礼を申し上げます。

来る令和十年にはご本山である新勝寺に於ける成田山開基一千九十年祭大開帳奉修のご勝縁と、名古屋別院開創七十五周年のご勝縁とを二大勝縁として迎えることとなり、記念事業として「本堂耐震化及び本堂内荘厳大改修」「不動明王像・二大童子像及び四大明王像修復」「信徒会館内エレベーター新設工事」「山容整備事業」を発願なされました。何卒、本日お参りいただいたご信徒皆様には更なるご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ひるがえって広く世間をみてみますと、国内外で今なお多くの不幸な事件が発生し、社会的な不安は益々増大しております。今こそ仏の教えを深く心に刻み、不動明王のお導きのもとに各々が日々精進していく姿勢が求められているのではないかと痛感いたします次第であります。

最後になりますが、今後とも御本尊不動明王のご加護により、成田山名古屋別院の益々のご発展とご信徒皆様の一層のご多幸ご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

謝辞

成田山名古屋別院大聖寺主監

小豆畑照観



一言御礼のご挨拶を申し上げます。

菊花馥郁と香り、瑞気満ちあふれる本日佳き日、ここに大本山成田山新勝寺貫首・岸田照泰大僧正ご親修のもと、堂内外ご参集のご信徒皆様と共に、名古屋別院開創七十二周年記念大祭を奉修いたしました所、ご信徒皆様方には、公私何かとご用ご多繁の折にも関わらず、当山信徒代表総代 名古屋鉄道株式会社代表取締役会長 安藤隆司様、中部電力株式会社相談役水野明久様ご名代秘書部長前田謙治様、東邦ガス株式会社顧問安井香一様、豊島株式会社代表取締役会長豊島平七様、株式会社名鉄百貨店代表取締役社長石川仁志様ご名代取締役管理部長加藤真樹様、参議院議員藤川政人様、衆議院議員武藤容治様ご名代秘書高野靖章様、犬山市長原欣伸様、愛知県

議会議員中村貴文様、扶桑町長齋藤武様、並びに特縁、篤信各位、成田山索の会々員各位、成田山各地講社、講員各位を始め大勢のご参拝を賜り、真言宗智山派別格本山大須観音堂院主岡部快圓大僧正ご名代岡部快雅僧正様、真言宗智山派東

海教区教区长佐伯光瑞僧正様、継尾山寂光院山主松平實胤大僧正様、成田山大阪別院主監金剛照祐僧正様、成田山川越別院主監樋口照喜僧正様、成田山福井別院主監嶋田照新僧正様、大本山成田山新勝寺教化部長小川照力僧正様、成田山萬福院住職竹島照般僧正様、はじめ教区内、各山諸大徳のご随喜及び成田山本山・大阪・川越・福井各別院のご助法を仰ぎ、厳肅且つ盛況裡にお勤めできましたこと、誠に有り難く衷心より厚く御礼申し上げます。

顧みますれば、当山が昭和二十八年十一月三日、この犬山を淨地に定め大本山新勝寺から、ご本尊不動明王尊ご分身を勧請申し上げ、諸堂が建立されてより、お陰様をもちまして本年七十二を迎えました。この間、護摩供の香煙絶ゆることなく、ご本尊不動明王のご威徳増々顕現せられ、誠に法幸限りなく存じますこと、これ偏にご信徒皆様のご信援ご信助、篤きご信心によって、今日まで護持されて参りました。只々深く感謝申し上げます。

さて、安藤信徒代表総代より賜りました御祝辞にも御座いました、来る令和十年は、成田山開基一千九十年祭大開帳奉修ご勝縁の歳、名古屋別院は、開創七十五周年を迎える歳と相なります。このご本山との両縁を二大勝縁として慶祝し記念事業を発願いたしました次第であります。当山に於ける記念事業は「本堂耐震化に伴う堂内改修工事」・「本尊不動明王、両童子及び四大明王像修理修復」・「信徒会館内エレベーター新設工事」が柱となり推し進めてまいります。また、諸堂や信徒会館をはじめとする境内施設・設備などいよいよ経年劣化や老朽化による不備・不具合などの発生が目立っております。継続的に必要な修理・改修の整備を行い、「憩い」の祈願所、安全安心なる寺院づくりを進めたい所存であります。

ります。今後、暫くの間ご信徒皆様にはご不便ご不自由をお掛け致すこととなりますが、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、このおめでたい席をお借りして索の会々員皆様に御礼を申し上げます。ここにご来臨の栄を賜りました索の会安藤会長様、社本副会長様、常務理事皆様はじめ、支部長・会員皆様の鋭意ご信援により、ご本尊さまへの報恩感謝と索の会の繁栄の祈願と、来る令和十年本山・別院の両勝縁を慶祝して、浄業成就を祈念し、明王門内に八尺大の見事な大提燈の奉納を賜りました。茲にご披露申し上げます、甚深なる謝意を表する所であります。当会は、昭和四十五年、成田山奉賛会東海地方本部索の会として結成以来、三県下二十四部・千五百有余名の会員を有する講社であります。本年めでたく五十五周年を迎えられました。誠に御めでとうございます。当山の外護信仰団体として、当山が節目々々の浄業を発願する礎には、必ずや会員一丸となって浄業達成に尽力を頂き、今日の当山別院隆昌発展に多大なる協賛を賜ってまいりました。茲に永年の信心顕彰と数々の社会奉仕活動の実践と功業に、深甚なる敬意と会員皆様の外護尽瘁に謝意を表する所であります。今後とも索の会の一層のご発展と会員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。結びになりますが、本日の開創七十二周年記念大祭を無慮成満できましたことに、厚く御礼申し上げます。皆様には、諸事万端不行届きの点お詫び申し上げますと共に、ご本尊さまのご加護のもと、ご信徒各位の一層のご繁栄並びに無事息災を心からご祈念申し上げます、御礼のご挨拶といたします。

開創七十二周年記念大祭  
十一月二日～三日

# スナツプ・フォト



記念大法要後の記念写真



教区・別院諸大徳

記念大法要へ入堂する  
大導師・職衆



八方宝剣法要

お参りされるご信徒



成田山名古屋別院大聖寺  
開創七十五周年記念事業

## 発願趣意書

令和十年成田山開基一〇九〇年祭慶讃

ご信徒の皆様には、ご本尊不動明王のご加護のもと、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当山は昭和二十八年十一月、東海一円のご信徒熱望のもと、景勝の地犬山にご本尊不動明王を勧請申し上げ、不動尊信仰の一大道場として開創されました。来る令和十年十一月には、開創七十五年の節目を迎え得ますことに、深く謝意を表する次第であります。

そこでこの度当山では、来る令和十年四月、本山新勝寺に於ける成田山開基一〇九〇年祭大開帳奉修の勝縁と、当山開創七十五周年の勝縁を二大勝縁として、ここに「開創七十五周年記念事業」を左記の如く発願致しました。

就きましては、この浄業達成のため、絶大なるご協賛ご志納を賜りますようお願い申し上げます。

### 記念事業概要

- 一、本堂耐震化及び本堂内荘厳大改修
- 一、不動明王像・二大童子像及び  
四大明王像修復
- 一、信徒会館内エレベーター新設工事
- 一、山容整備事業
- 1. 稲荷堂遷座改修
- 2. 憩いの場改修工事
- 3. 明王門奉納大提灯設置(索の会)

令和七年五月吉日

大本山成田山名古屋別院大聖寺

◆現在、開創七十五周年に向けた記念事業の工事を境内各所にて行なっております。工事中はご信徒皆様に何かとご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。





# 索の會だより

## 開創七十二周年 記念大祭厳修

十一月三日、開創七十二周年記念大祭が奉修されました。索の会会員が開創七十二周年を祝しました。会員各位には、事務局よりご祈念札をお授けいたしました。

### 支部総参拝 支部総会開催

#### ー丹羽支部ー

十月三日、丹羽支部（支部

## 明玉門大提灯奉納御礼

開創七十五周年記念事業の一環として、索の会より大提灯を御奉納頂き、縣吊の儀を終えることが出来ました。索の会会員皆様に対しこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



長井社本宮明氏)の支部総参拝並びに総会を開催されました。

本堂にて成田山内の樽谷僧正による法話を拝聴、大護摩供を参拝し、丹羽支部の益々のご発展と支部員皆

様の所願成就を祈願されました。

大護摩供厳修後、続けて総会を実施、事務局の司会のもと丹羽支部員物故者に対し黙祷を捧げ、索の会のスローガン「私たちの誓い」を唱和し、大護法教育部長の挨拶を頂戴しました。

続けて、社本支部長より挨拶を頂戴し【写真】、事務局からは、令和六年度事業報告・令和七年度事業報告をし、承認されました。 田尻記

#### ー犬山一心支部ー

十月五日、犬山一心支部(支部長 川村武志氏)の総登山が実施されました。

杉浦僧正による法話を拝聴し、大護摩供を参拝、所願成就を祈願されました。 松浦記

### 事務局よりお知らせ

十一月の開創記念大祭に欠席された索の会会員の方で、ご祈念札をご希望の方には、十二月末日まで本堂右側総受付にて授与いたしております。

# 貞照寺だより

## 開創九十二周年記念大祭厳修

十月二十八日、開創九十二周年記念大祭を執り行いました。本堂では午前十時三十分

より開創記念大護摩供を厳修、参拝信徒の所願成就を祈願しました。

## 『貞奴マルシエ』開催

十月二十五日、第四回『貞奴マルシエ』が開催されました。

本堂では午前中大護摩供を厳修。当日は、小雨の中

はありましたが、各務原太鼓保存会さんの太鼓、名古屋大

学よさこいチーム(快踊乱舞)さんによる演舞の奉納がありそれぞれの演舞に大きな拍手が巻き起こっていました。 十店舗の参加を頂き賑わいを見せた『貞奴マルシエ』はとても好評。 今後も企画したいと考えております。



貞奴忌のご案内  
十二月七日(日)

◆開創川上貞奴女史  
追善法要  
午前十時半より  
◆奉納コンサート  
午前十一時より

出演  
金光順子(ソプラノ)  
安藤風季(ソプラノ)  
縣友里恵(ピアノ)



安藤 風季 (ソプラノ) 金光 順子 (ソプラノ) 縣 友里恵 (ピアノ)

貞奴縁起・諸芸上達・所願成就

## 成田山貞照寺

〒509-0123  
各務原市鵜沼宝積寺町 5-189  
電話 (058)384-0202



### 12月の成田山行事

- ◆ご縁日 1日、15日、28日
- ◆ご詠歌講習会 15日  
午後1時 信徒会館3階
- ◆納め大師 21日 大師堂
- ◆写経会 28日 信徒会館3階
- ◆納め不動 28日 本堂
- ◆除夜の鐘 31日 鐘楼堂

行事は中止または内容が変更となる場合がございます。最新情報はホームページ、境内掲示、お電話にてご確認ください。

### 冬の交通安全週間 特別ご祈禱のご案内

期間 12月1日~10日

当山では年4回の「交通安全週間」の主旨に賛同し、この期間中に交通安全ご祈禱を受けられた方に「交通安全之証」を授与して、より一層の交通安全のご加護を得られますよう心よりお祈り申し上げます。



交通安全之証

### 茶室 若水庵

- ◆お抹茶 一服五百円
- ◆九時~十五時
- ◆開庵 土・日曜

ご参拝時のご休憩にご利用下さい



### 銅板志納者芳名

(順不同敬称略)

#### 十一月

- 各務原市 (株)TEAM
- 多治見市 早川 浩 充
- 三重県 西出 博 行
- 江南市 竹内 教 人
- 春日井市 大野 増 雄
- 犬山市 新企画開発(株)
- 名古屋市 井上 英 子

### 十月の大護摩供

#### 修行者芳名

(順不同敬称略)

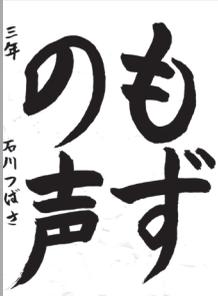
- 名古屋市 港トラック成田講
- 瑞穂市 丸門建設(株)
- 羽島市 丸門運輸(株)
- 名古屋市 (株)TKB
- 東近江市 滋賀丸門運輸(株)
- 各務原市 (株)TEAM

### 紙上書道展

小五 石川きらり  
【評】字形良くしつかりと書けています。



小三 石川つばさ  
【評】力強く書けています。



小二 上島はるか  
【評】のびのびと元気に書けています。



### 護摩木祈願のすすめ

家内安全 成田一郎



お護摩祈禱にてお焚き上げし、お願い事が成就されますようご祈念いたします。御名前とお願いの事をお書きの上、お申込み下さい。

初穂料三百円以上 五百円以上(大)

### 十月の自動車特別ご祈禱修行者芳名

(順不同敬称略)

- 加茂郡 杉山 恒夫

### 十月の登山講社

- 名古屋市 名古屋成田講
- 成田山金山橋講

### 写経会

- ◆日時 毎月二十八日 九時~十四時半
- ◆場所 信徒会館3階
- ◆初穂料 一千元

「編集室より」は紙面の都合上、休載いたします。